

2023年04月10日

課題名：臍頭十二指腸切除術後胆管炎の頻度と周術期因子の検討

◆研究の目的と概要◆

当院では、臍頭十二指腸切除後の胆管炎について頻度とその因子を調べています。本研究では、術後胆管炎の減少を目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2016年1月から、2020年12月までの間に、臍頭十二指腸切除を施行された18歳以上の方。

◆研究に使用される情報◆

手術日、性別、年齢、BMI、術後診断、原発、死亡日、術前治療、術前胆管炎、減黄（黄疸治療）処置の有無、胆管径、胆摘の既往、胆管径（術中）、術式、腹腔鏡使用、手術時間、出血量、合併切除臓器、胆管空腸縫合法、一穴化有無、術後合併症、Clavien grade、術後胆汁瘻、在院日数、術後早期胆管炎、ドレーン抜去日、胆管炎入院回数、胆管炎月数、胆管拡張回数、再発、拡張後胆管炎の有無

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

- 
- \* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
  - \* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

外科 研究責任者 増井俊彦

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明